

## パイロット用ヘルメット「FHG-2」 ブルーインパルス2018ツアーバージョン

米国製の航空ヘルメットを参考につくられた、純国産航空ヘルメット「FHG-1」の流れを汲むモデルです。素材にはパラ系アラミド繊維を利用して強度を保ちつつ軽量化を図り、超高速飛行時におけるパイロットの首へかかる負荷を軽減します。内部には発泡ポリウレタンなどを用いたパッドを使い、頭部全体を包み込むようなフィット感を実現。イヤerpッドの遮音性も高く、通信音声聞き取りやすくなっています。通常の色はグレーですが、ブルーインパルス用は鮮やかな群青色で、スタイリッシュなステッカーでデコレーションされている特別版です。

### バイザー

パイロットの目を保護するスモークタイプのバイザー。スライド収納式で、好きな角度に調節することができます。

ブルーインパルスのツアーステッカーは、毎年違うデザインになっています。2018年バージョンはハートがモチーフです。

### 2018ツアーステッカー



### 音声通話用コネクター

音声通信用ユニットは、酸素マスクと一体型になっています。酸素マスクについているマイクプラグを差し込み、イヤerpッド内のスピーカーに通信音声を伝えます。

酸素マスク装着時



### 酸素マスクレシーバー

酸素マスクを取り付けるパーツ。パイロットの顔に密着し、酸素濃度が薄くなる高度飛行時において、安定してパイロットに酸素を供給します。

## ●準備するもの

- ・ハサミ、カッター（デザインナイフ）
  - ・折リスジを付けるための先の丸い鉄筆やヘラ
  - ・定規（薄いものを使いやすい）
  - ・のり（速乾タイプの木工用または紙用ボンド）※水分が多いのり、事務用スティックのりは不向きです
  - ・のりを塗るためのつまようじ（先端がダメになったら交換できるように、たくさん用意）
  - ・細かいところや指が入らないところを接着するときに使うピンセットやヘラ
- その他、先の平らな毛抜きで折ったり、切り口や折り目をペンでレタッチするなど工夫してください

制作難易度は少々高めです。  
切り取り、貼り合わせは丁寧に行ってください。



バイザーレンズの状態を選べます

※写真はイメージです

## まずは

## 各パーツごとの作業

### 1 すべてのパーツを輪郭にそって切り取ります (C バイザーレンズはオープン/クローズを選択)

展開図上に書かれた注釈をよく読み、輪郭にそってハサミ、カッターで丁寧に切り取ります。曲線部分はハサミを使い、直線部分は定規をあててカッターで切るなど、用途に応じて使い分けると良いでしょう。



●「折線まで輪郭にそって切り込み」  
の注釈があるところは、図1のように赤線で示した部分に切り込みを入れます。のりしろの折り線の方は切らないよう注意してください。

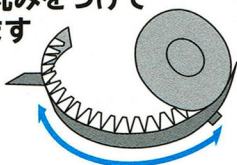
●「××を差し込むための切り込み」  
紙の厚みを考慮し、極細の窓状に切り抜くか、カッターで入れた切り込みを、つまようじの先端で少し広げるなどで差し込みやすくしておきます。

### 2 折り線でしっかり折ります

山折り・谷折りの折り線は、鉄筆などで折リスジを付け、しっかりと折りグセがつくように折ります。折り目の根元をしっかりと持つと折りやすいです。

### 3 曲面になるところは指で丸みをつけて組み立てやすくしておきます

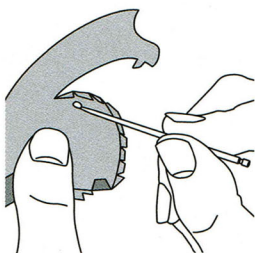
特にE イヤーパッドは、丸くクセをつけた方が組み立てやすいでしょう。



### 4 のりしろにのりをぬり、番号順に接着していきます

各パーツののりしろ1から順番通りに「のりをぬって貼り合わせ、指で数秒間しっかり押さえて確実に接着する」を繰り返していきます。同じ番号が書かれたのりしろには同時にのりをぬり、同時に接着します。（難しい場合は同時でなくてもOK）

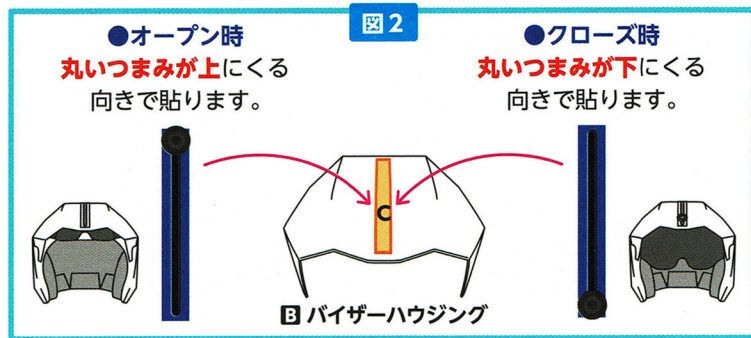
のりは厚紙や皿などに少し出しておき、つまようじの先でとって、適量をのりしろの全体に、うすくムラなくはみ出さないよう丁寧にぬり広げます。つまようじは先端がダメになったら早めに新しいものに交換するようにし、のりが乾き始めて粘度が高くなってきたら、都度新しく出して使うようにしましょう。



貼り合わせはズレないように慎重に行い、数秒間指で押さえ、しっかりと接着してください。細かいところや指が入らないところはピンセットやヘラを使って押さええます。

### 5 バイザーレンズのオープン/クローズに合わせて B バイザーハウジングを完成させます

下記の図2を参照し、つまみのパーツをBのCに貼ります。

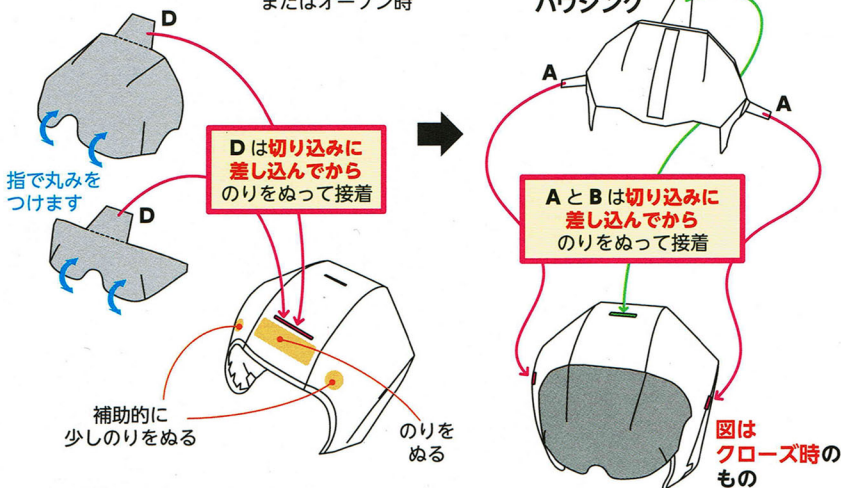


### A~Dの各パーツが揃ったら パーツ同士を組み上げる

### 6 C バイザーレンズを A にしっかり接着してから B バイザーハウジングを取り付けます

C バイザーレンズ クローズ時またはオープン時

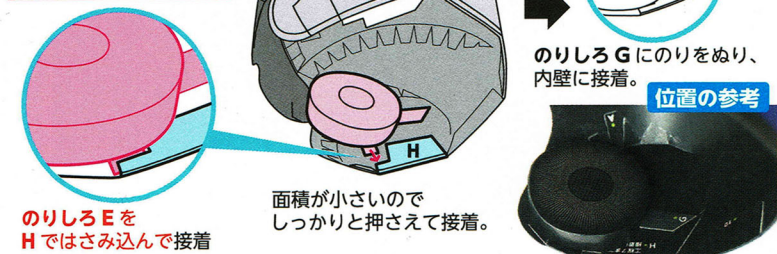
B バイザーハウジング



### 7 左右の E イヤーパッドを接着して完成

D のりしろ E と F (Fには多めに)、A のりしろ H にのりをぬり、のりしろ E をのりしろ H の幅の狭い所ではさみ込んで接着します。接着できたら、D のりしろ G をめくってのりをぬり、接着します。

図は右のもの (左も同様に接着。左右で位置をそろえる)

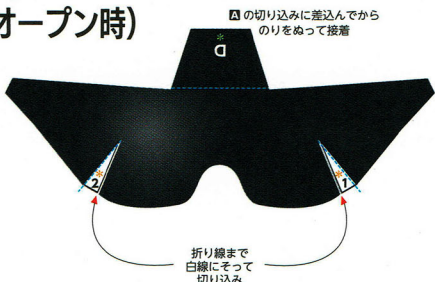


のりしろ E を H ではさみ込んで接着

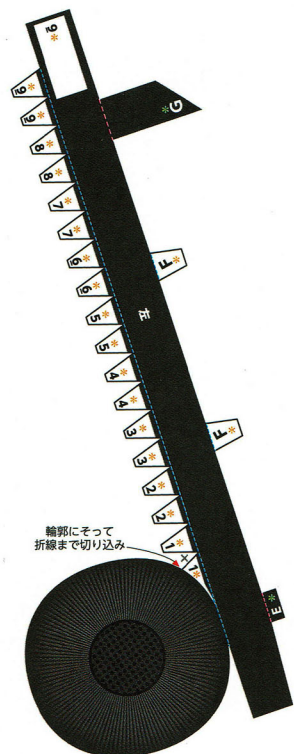
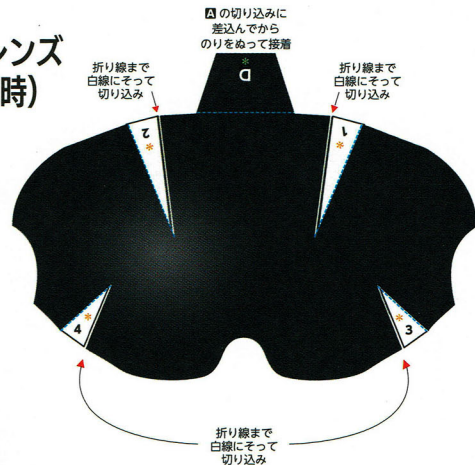
面積が小さいのでしっかりと押さえて接着。

位置の参考

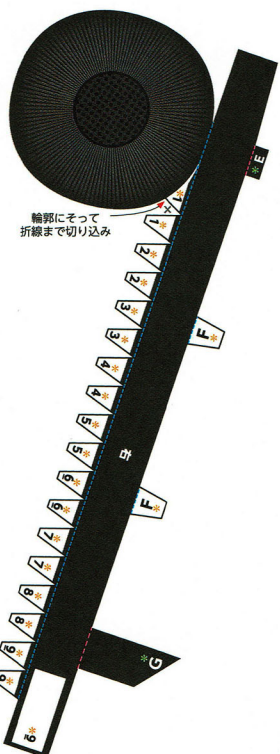
① バイザーレンズ (オープン時)



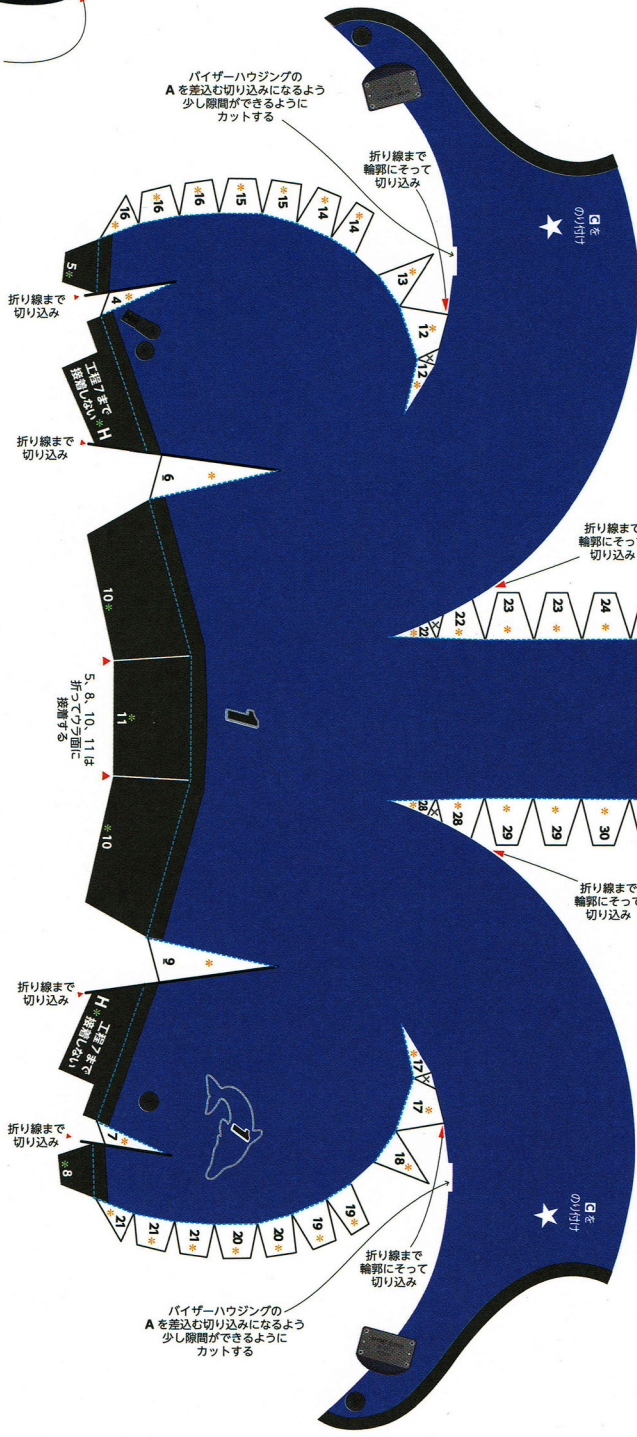
② バイザーレンズ (クローズ時)



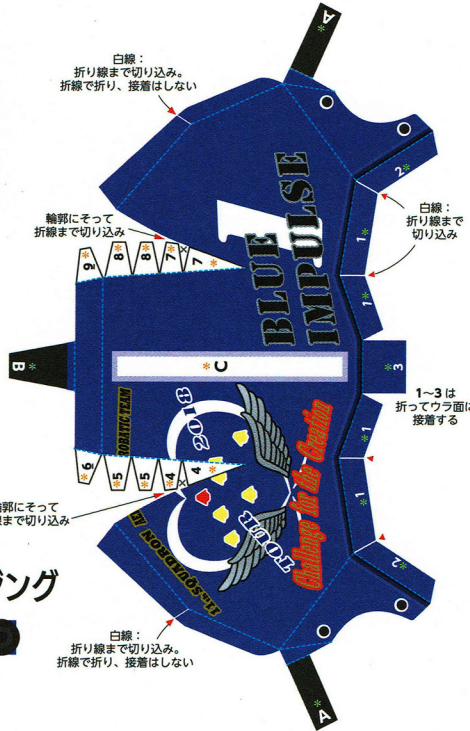
④ イヤーパッド (左)



④ イヤーパッド (右)



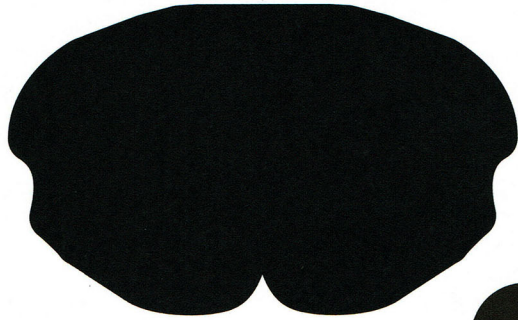
A シェル



B バイザーハウジング

- 山折り
- 谷折り
- ▶ 切り込みを入れる
- \* のりしろ
- \* ウラ面にのりを塗る のりしろ
- 1 のりしろの数字は接着する順番
- × 切り落とす部分

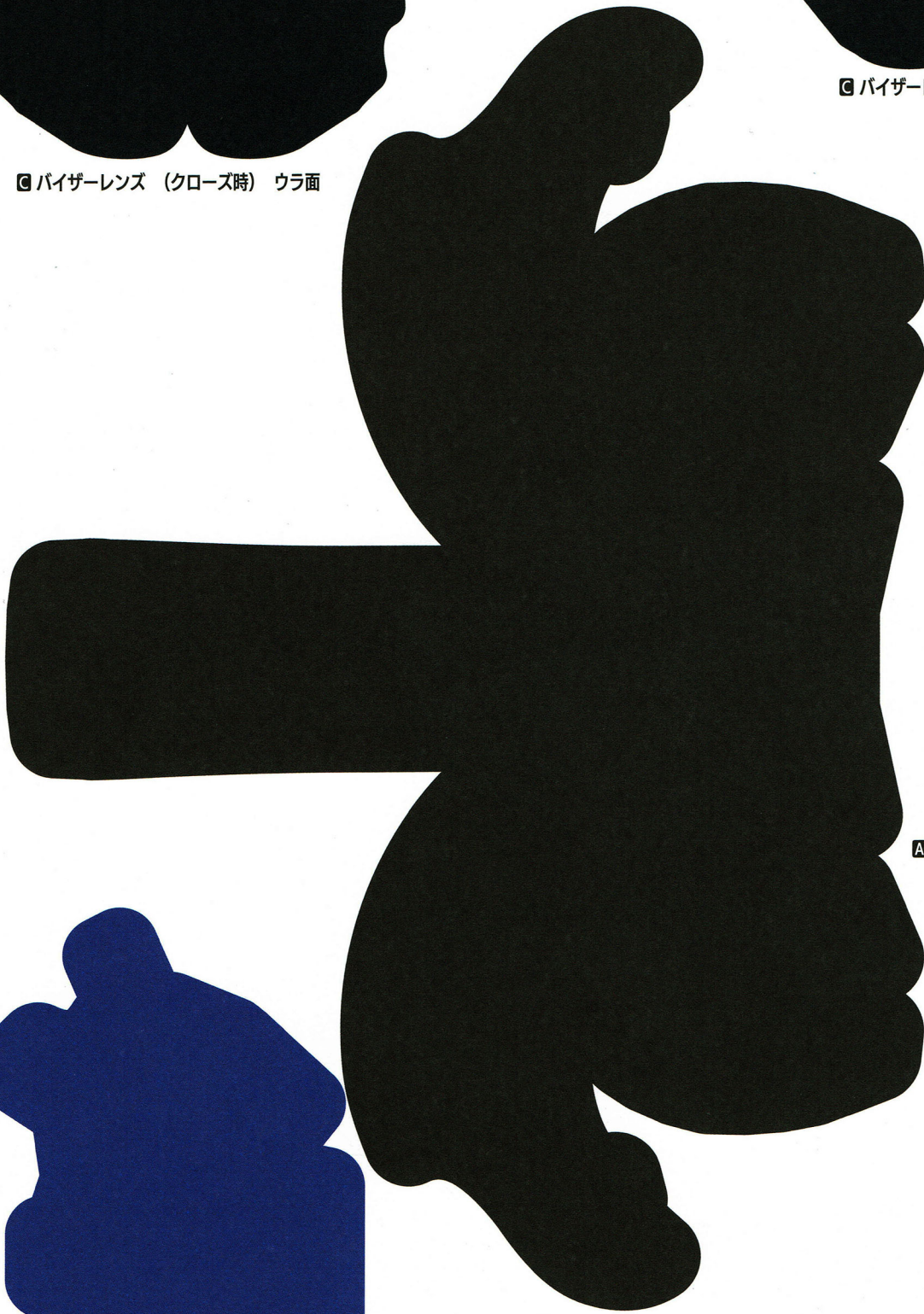
このパーツは切り取った後、工程5まで接着しない



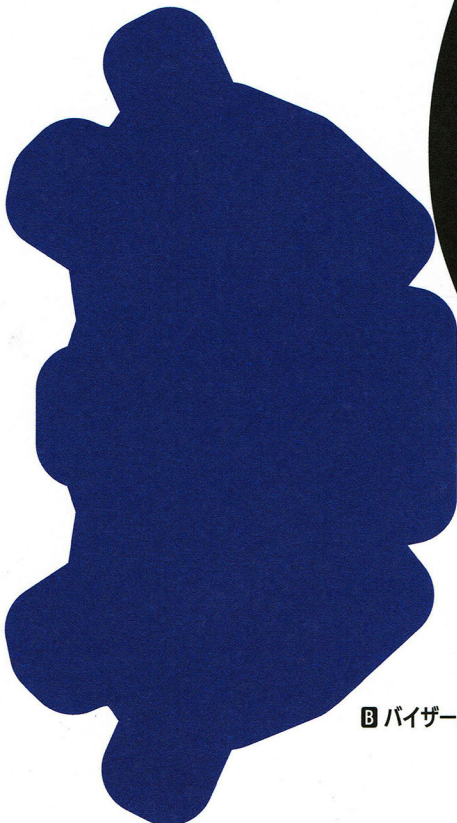
㊦ バイザーレンズ (クローズ時) ウラ面



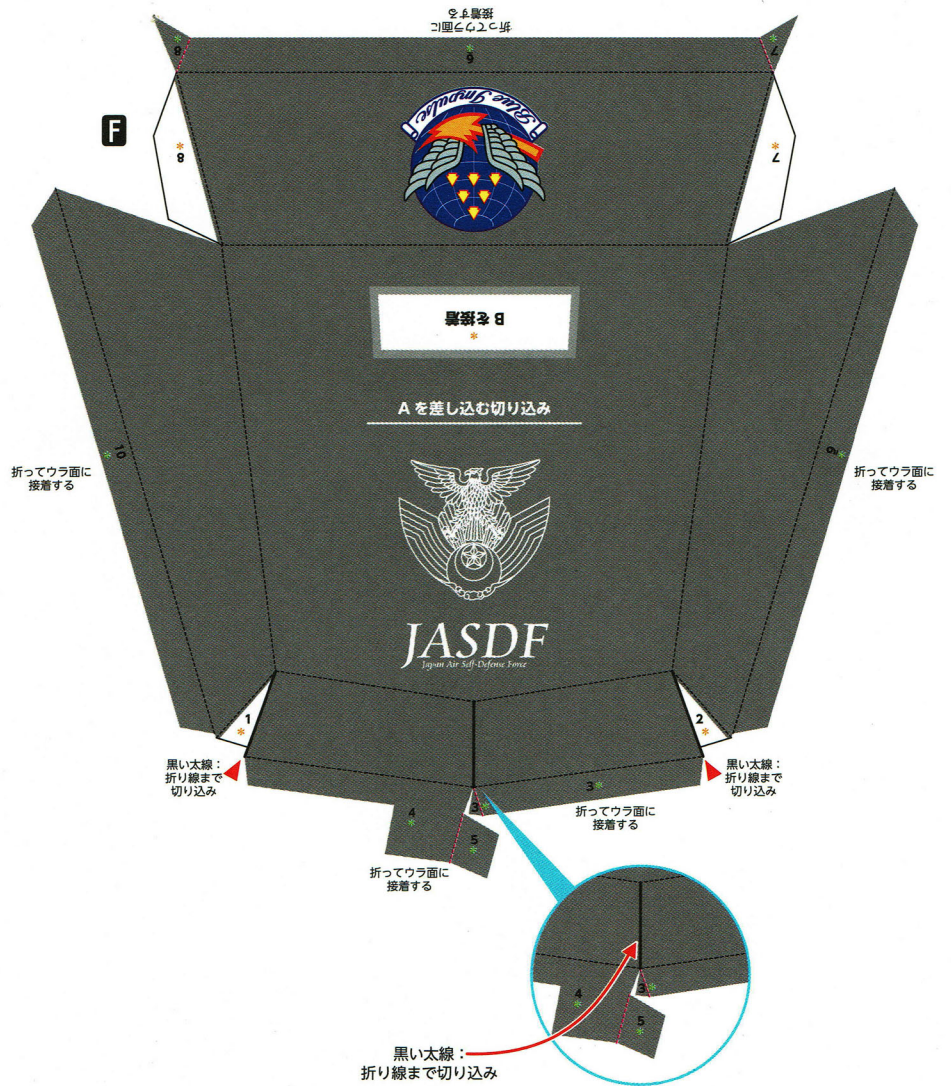
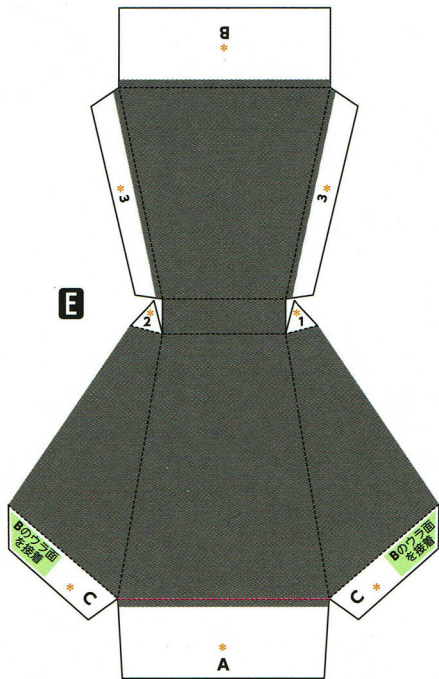
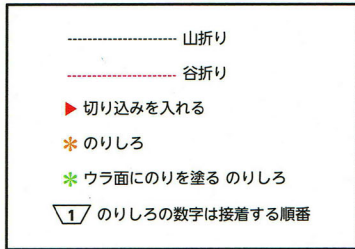
㊦ バイザーレンズ (オープン時) ウラ面



㊦ シェル ウラ面



㊦ バイザーハウジング ウラ面



## 飾り台の作り方

### 1 パーツを輪郭にそって切り取ります

展開図上に書かれた注釈をよく読み、**輪郭にそって**ハサミ、カッターで丁寧に切り取ります。

### 2 折り線でしっかり折ります

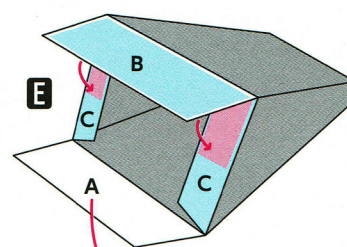
山折り・谷折りの折り線は、鉄筆などで折りスジを付け、しっかりと折りグセがつくように折ります。折り目の根元をしっかりと持つと折りやすいです。

### 3 のりしろにのりをぬり、番号順に接着していきます

各パーツののりしろ1から**順番通りに「のりをぬって貼り合わせ、数秒間しっかり押さえて確実に接着する」**を繰り返していきます。同じ番号が書かれたのりしろには同時にのりをぬり、同時に接着します。

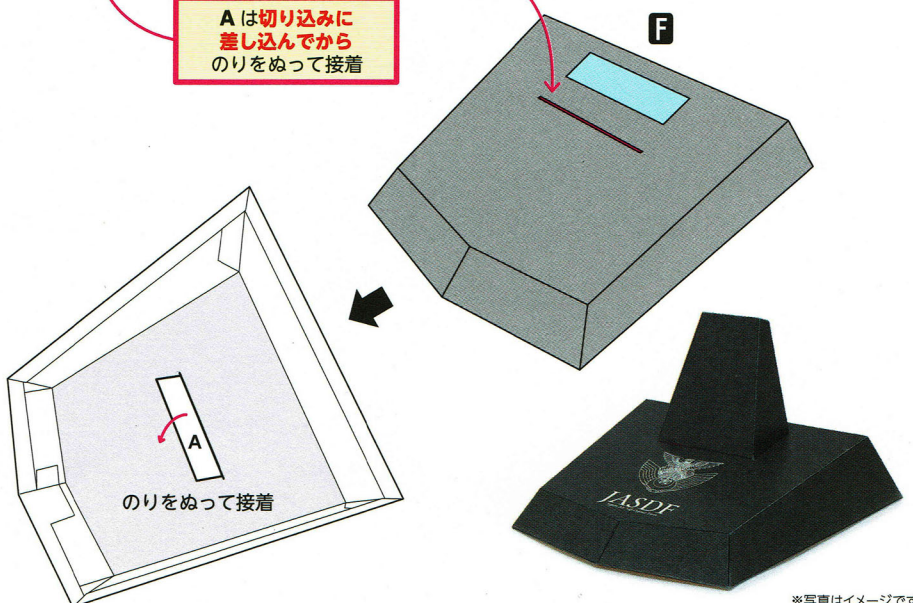
貼り合わせはズレないように慎重に行い、数秒間指で押さえ、しっかりと接着してください。

**E** ののりしろ **3** の接着は、指が入らないので、ヘラなどを使って押さえます。



- EののりしろBのウラにのりをぬってCに接着
- ↓
- BとC全体にのりをぬる
- ↓
- EのAをのりをぬらずにEの切り込みに差し込み、EとFをしっかり接着
- ↓
- Aにのりをぬって接着

**Aは切り込みに差し込んでからのりをぬって接着**





JASDF  
Japan Air Self-Defense Force

完成イメージ

